

# Laquer

2023  
10. 28  
sat  
—  
11. 8  
wed

# 漆

Lab.

感性とサイエンスが繋ぐものづくり

主催 = 地方独立行政法人 京都市産業技術研究所



京都伝統産業ミュージアム  
Kyoto Museum of Crafts and Design

「漆」は、樹液を原料とする天然の塗料です。日本では古来より、身近な生活から美術の領域まで私たちの暮らしに深く根ざしてきました。本展では、漆を使って新たなものづくりをする若手職人・作家が各々の感性を発揮して生み出す作品とその魅力をお伝えします。漆には、現在の科学でもまだ解明できていない部分があります。京都市産技研での漆に関する研究成果も併せて紹介し、漆の多様な世界をバックグラウンドとして、従来にはなかった新しい漆の可能性の追及と、若手職人・作家が現代の漆工の新しいかたちに挑戦する取組をご紹介します。

知を  
 拡げ、  
 文化を  
 描く

地方独立行政法人 京都市産業技術研究所

京都市産業技術研究所は、伝統産業から先進産業まで、地域企業を技術面から支援する公的な産業支援機関です。創設から100年余り。ものづくり技術の向上に取り組む事業者の挑戦を支援してきました。そこで生み出された技術が生活の中に浸透し、やがて新しい文化が生まれます。私たちは、技術と文化でイノベーションを起こすまち「京都」を地域企業とともに築いていきます。

【事業紹介】

京もの担い手支援事業

「京もの」\*の製作に携わる若手担い手に対し、京都の行政機関や支援機関などと連携し、製品開発から販路開拓まで幅広く支援しています。またポータルサイト「京もの担い手プラットフォーム」を運用しイベント（展示会）、セミナー（研修）、補助金等、担い手に対する効果的な情報発信を図るとともにメンバー及び事業のPR・プロモーションなどを行なっています。

（※本事業における「京もの」：京都市及び京都府が指定する京もの指定工芸品）

伝統産業技術後継者育成研修

京都が誇る「京焼・清水焼」「京漆器」「京友禅」「西陣織」などの技術者を養成する研修を実施しています。

# 漆るLab.

感性とサイエンスが繋ぐものづくり

2023年  
 10月28日 | 土 | — 11月8日 | 水 |

会場 | 京都伝統産業ミュージアム MOCAD ギャラリー  
 時間 | 10:00-18:00 (入館は17:30まで) 入場無料

主催 = 地方独立行政法人 京都市産業技術研究所  
 共催 = 京都市、京都伝統産業ミュージアム (株式会社 京都産業振興センター)

お問合せ |  
 〒606-8343  
 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1  
 京都市勤業館みやこめっせ 地下1階  
 開館時間 10:00-18:00 (入館は17:30まで)  
 Tel: 075-762-2670  
 https://kmtc.jp



京都伝統産業ミュージアム  
 Kyoto Museum of Crafts and Design



加藤 友理 Yuri Kato

木地や乾漆造形の素地作りから、漆塗り、そして蒔絵、螺細、彫漆、存清などの加飾技法により制作しています。既存の漆工芸品にはない異素材の活用や異業種との合作による作品作りもしています。

金本 亮介 Ryosuke Kanamoto

書道具のひとつである墨ばさみを漆塗りにする事で、自然なぬくもりや漆特有の質感、ツヤを楽しんでいただけるよう、また、こだわりのある道具とともに、より良い時間を過ごしていただけるよう製作に取り組んでいます。

島本 恵未 Megumi Shimamoto

2014年に表望堂という工房を立ち上げてから、漆に関わる様々なお仕事をさせていただいております。下地から塗り、蒔絵工程まで一貫して任せて頂ける工房として、日本や世界の様々なお客様に漆の魅力を発信しています。作家・蒔絵師として、自分でデザインした蒔絵を様々な媒体に広げていく活動をしています。

枚田 夕佳 Yuuka Hirata

高校時代にとある漆の作品集に出会ってから、漆の多様性や表現の幅広さ、魅力的な所に毎日驚きつつとても惹かれています。工房では伝統的な修繕である金継ぎを行う傍らで、現代の作家としては漆の多様性を引き出せるよう、アクリルやガラスといった現代的な素材と漆素材を掛け合わせた漆蒔絵作品を制作しています。

堀居 賢司 Kenji Horii

琥珀への蒔絵・螺細技法を用いた装身具と、漆芸を学ぶ以前から持っていた金属加工の技術を活かした金胎漆器によるカトラリー、ナイフを主に製作しております。設計から仕上げまでを当方で一貫して行っており、耐久性や使いやすさといった道具としての機能性と美しさを両立する物作りを心がけております。

suosikki

「お気に入り」を意味するフィンランド語「suosikki」。お気に入りの漆器とともに、美味しい一皿をいただく、至福の時間。素材が持つ質感や特徴を活かすこと。手作業だからこそ生まれる、馴染みの良い仕上がりに。自然塗料である漆を使った、今までのイメージにとらわれない新しいデザインを提案するブランドです。